

1.1.2.6-11

「ほど」と「ぐらい」の使い分け

1.1.2.6-11「ほど」と「ぐらい」の使い分け_ナレッジ

👉 まず、「ほど」と「ぐらい」の用法を了解しましょう

「ほど(程)」の用法

① **おおよその分量・程度**を表す。

例) 一週間【程】旅行する。 例) どれ【程】眠ったろうか。

② **動作や状態の程度**を表す。(動詞の後に使われて、ある限度に達することを驚きをもって示し、多く、動作や状態の程度がはなはだしいことを表す)

例) 二人は驚く【程】似ている。 例) 泣きたい【ほど】腹が立つ

③ **程度を比較する基準**を表す。

i) ~ほど~ないの形で打消しの意を表す語と呼応して、比較の対象と同じくらいですが、そこまで程度が激しくないことを表わす。 例) きのう【程】暑くはない。

ii) 一方の程度が高まるのに**比例**して、他方の事柄・状態が一層**高まる**意を表す。
(多く「…ば…ほど」の形で用いられる) 例) 読めば読む【程】面白くなる。

「ぐらい」の用法

① **おおよその分量や数量、程度の見積**を表す。

例) 池には鯉が20匹【ぐらい】泳いでいた。 例) 一キロ【ぐらい】行くと駅につく。

② **おおよその基準となる事柄**を表す。

i) 基準を表す。

例) 君ぐらい勉強ができるといいのだが。 例) 声も出ないぐらい驚いた

ii) 程度の低さ、容易さを表す。

例) このゲームは暇つぶしぐらいにはなる。 例) コーヒーぐらい、奢らせてよ。

※ ii) の場合「ぐらい」しか使えない。(これは「ほど」には無い用法である)

③ 事実や状態を示し、**程度を主張**する意を表す。

※ある事柄を示し、それがひどく悪いもの、嫌うべきものとして表す。

「AぐらいならBのほうがいい/Bの方がました」の形をとることが多い。

Aを否定してからBの提案を示す場合などに使います。

例) 降参するぐらいなら死んだ方がました。 例) 捨てるぐらいなら、もったいないので私にください

1.1.2.6-11_「ほど」と「ぐらい」の使い分け_ナレッジ

共通する意味

「程」と「ぐらい」は両方ともおおよその分量や程度などを表し、交換可能です。

- ・野菜を2cm【ほど・ぐらい】に切ってください。
- ・電車で2時間【ほど・ぐらい】かかる。

⇒

大体の、おおよその数や量を示す場合、どちらでも使用可。【程】①用法、【ぐらい】①用法

使い分けの具体例(応用例①)

「ほど」と「ぐらい」は両方とも比較の基準を示すことによって、おおよその程度を示すが、同じ基準でも、①ある事柄の程度が軽いもの、弱いもの、低い事、容易な事として「最下限」を表す場合に「ぐらい」しか使えない。
②かまわないような気がするが、「最上限」の極端な程度を比喩的に表わす場合、「ほど」しか使えない。

○「酒【ぐらい】飲んだっていいよ」
×「酒【ほど】飲んだっていいよ」

⇒

「酒」は程度低い事を表す。
（「ぐらい」しか使えない。）

それ【ぐらい】分かるさ。

⇒

「それ」は容易な事を表す。
（「ぐらい」しか使えない。）

ふつうの日本語を読む【ぐらい】のことは出来るよ。

⇒

「ふつうの日本語を読む」は容易な事を表す。
（「ぐらい」しか使えない。）

1.1.2.6-11「ほど」と「ぐらい」の使い分け_ナレッジ

死ぬ【ほど】辛い経験をした。

⇒

「死ぬ」は経験の辛さの甚だしい程度を表す。（「ほど」しか使えない）

動けない【ほど】の腹痛

⇒

「動けない」は腹痛の甚だしい程度を表す。（「ほど」しか使えない。）

【使い分け対比表】

	十人～来た	猫の額～の土地	泣く～の事ではない	名前～書ける
ほど	○	○	○	—
ぐらい	○	○	—	○

👉 使い分けの具体例(応用例②)

①一方の程度が高まるに比例して、他方も高まるという意を表す場合、「～ば～ほど～」で使われ、但し、必ずしも「～ば」がつくわけではありません。

火事は、発見が早けれ【ば】早い【ほど】、消しとめられる。

地位が高い【ほど】、腰が低いものだ。

②比較の対象を表す場合、「ぐらい」と「ほど」のどちらも使う事が可能ですが、続いて「～ない」の否定形が続く時は、「ほど」だけに許されるもので、「ぐらい」に置き換えることは出来ません。「～ほど～ない」

○あの人【ほど】美しい人はいない。

×あの人【ぐらい】美しい人はいない。

1.1.2.6-11_「ほど」と「ぐらい」の使い分け_ナレッジ

③事実や状態を示し、程度を主張する意を表す場合、「Aぐらいなら、Bのほうがいい/Bの方がましだ」の形でAを否定してからBの提案を示す場合などに使う。

捨てる【ぐらいなら】、もったいないので私にください。
どうせ失敗する【ぐらいなら】、挑戦しないほうがましだ。

ビジネスで使える「ぐらい」の言い換えは？

- ・「ぐらい」は、ビジネスで使うときなどは基本的には「～ほど」に言い換えます。「～程」が適切でない場合は他の言い換えを使うか違う言い回しに変える。
- ・文学作品であるとか、新聞であるとか、そういうものを読むときに「ほど/程」の字を見つけた場合には「ぐらい」に置き換えが出来ないことは多くあるので、ご注意ください。

曖昧な表現は気を付けて使う。

「ぐらい」はだいたい、おおよそなどの不確定を示す表現なので、丁寧な言葉に言い換えたとしても信用問題に関わるような正確な情報が必要になる場面では、使わない方が良いとされています。後々トラブルなどにならないよう、不確定であることを伝えるようにしましょう。